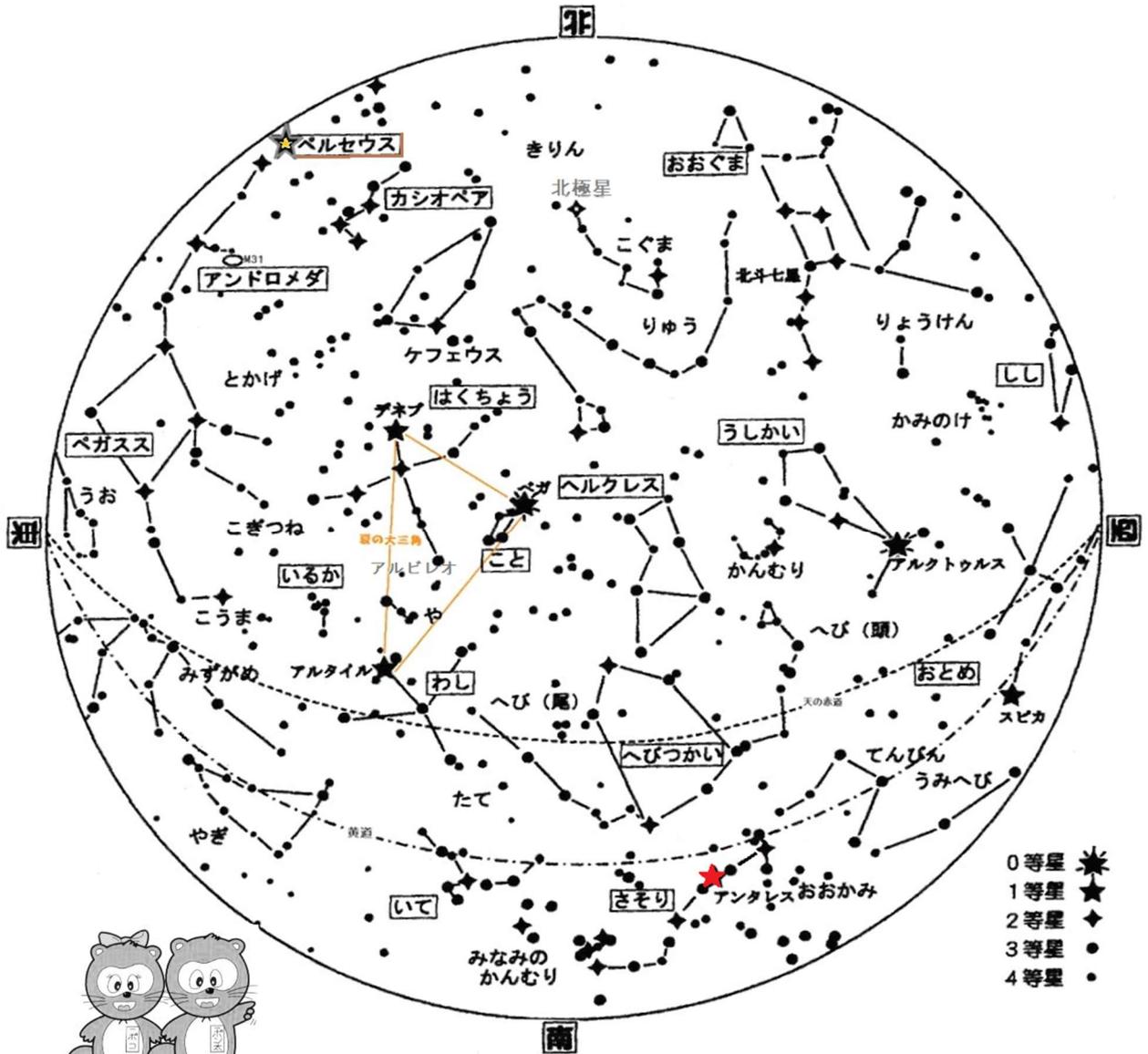


山口徳地青少年自然の家

☆星をみる会☆夏の**大三角**・ペルセウス座流星群 令和7年**8月**

天体観察指導員:原田・国広

★**星空案内**★ 8月中旬 21時頃



あま がわ かんさつ

※星図参照：アストロガイド2025

☾ 月が出ていない夜には夏の**天の川**を観察してみましょう！

まず、みんなが住んでいる（夜でも明るい？）^{まち}街でも夏の夜空で目立つ「三つの星」
できる**夏の**大三角****を探しだし、夏の星座を見つけてみましょう！」

この△^{さんかくけい}**三角形**を作っているのは、一番の輝きで目立つこと座の「**ベガ**」と、
わし座の「**アルタイル**」、はくちょう座の「**デネブ**」です！

≡☆ りゅうせい 流星について ☆≡

夜空をながめていると、時々「星がスーッと流れる」ことがあります！これは夜空に輝いている星が動くのではなく、すなつぶ 砂粒ほどの小さな塵ちり（流星物質=スターダスト）が地球のたいきけん 大気圏に飛び込み、まさつねつ 大気との摩擦熱によって高温になり発光するのです。これを一般に「流星/流れ星」と呼び、特に明るい場合は「火球」と呼ばれます！

☆毎年ほぼ決まった時期になると活発に活動するものは、ほうしやてん 放射点の星座を基準に「**〇〇〇〇座流星群**」などと呼ばれ、その他の流星（特別な時期ではなく、一般的な流れ星）を「**散在流星**」といいます。

ミ★ りゅうせいぐん ペルセウス座流星群 ★ミ

1月の「しぶんぎ座流星群」、12月の「ふたご座流星群」と並ぶ三大流星群のひとつ「ペルセウス座流星群」の活動ピーク（この夏は）8月13日朝5時ごろと予測されています。スィフト・タートル彗星の通り道を、毎年この時期に地球が通過し、そこに残されていた流星物質が地球にとびこみ100kmほど上空で発光して見えます。

*今夜（12日）は、21時過ぎに「月齢^⑩の月」が昇って徐々に月明かりが邪魔をしますが、できるだけ夜空の広い範囲を見渡しましょう。「ペルセウス座」は21時頃にやっと北東の空（山の上）に現れ始めますが見つけにくいので既に見えている「カシオペア座」を目印に、その辺りから「スーッと流れる光の筋」が「ペルセウス座流星群の流れ星」の可能性ががあります！

*今夜（12日夜）～翌朝までと、13日夜や14日夜（夜明け直前）頃まで、流れ星の中心付近（放射点）となる「ペルセウス座」が北東の空高くのぼってからが流れ星をみつけるチャンスになるはず！

ミ☆ ペルセウス座流星群の流星の例 ☆ミ

- 放射点から比較的離れていて経路が長く見える物は「ペルセウス座流星群」の流れ星です。
- 放射点に近い場合経路が短く見える物も「ペルセウス座流星群」の流れ星です。

※ペルセウス座流星群ではない例（さんざい 散在流星 または 他の流星群）

- ×放射点に近いのに経路が長い物は「ペルセウス座流星群」の流れ星ではありません。
- ×放射点から比較的離れているのに経路が短い物は「ペルセウス座流星群」の流れ星ではありません。
- ×放射点に向かって流れている（反対方向）の物は、「ペルセウス座流星群」の流れ星ではありません。
- ×放射点から流れてきていない物は「ペルセウス座流星群」の流れ星ではありません。

***夏休み中の主な流星群 ☆2025年夏☆** *極大日は予測時刻（午前0時～24時）をもとにしています！

天文イベント名	月日(期間など)	特徴・内容
みずがめ座流星群 やぎ座流星群	7月30日～ 8月末頃	みずがめ座 に放射点を持つ4つの群（ デルタ南群/北群・イオタ南群/北群 ）の総称。7月30日には、 やぎ座流星群 も極大をむかえる。
ペルセウス座流星群	8月13日* (午前5時頃極大)	スィフト・タートル周期彗星が母天体。今年は月が邪魔するので、1時間あたり10～15個程か…？ 12日夜～14日夜までは観察できそう！
はくちょう座\times流星群	8月18日	はくちょう座カッパ流星群 が極大（出現期間8月7日～24日頃） 出現数は少ないが、スピードが遅めで 火球 が見られる場合も…!?